

第12回 神楽坂「感染症にまつわる数理」勉強会

主催：東京理科大学 研究推進機構 総合研究院

「数理解析連携研究部門」

メモリー効果を考慮した 感染症数理疫学モデル

中岡慎治氏

北海道大学 大学院先端生命科学研究院 准教授

日時：2022年8月3日（水）

15:00－17:15

場所：オンライン（Zoom）

本講演では、再生方程式をベースにした定式化に着目し、感染源となるリザーバーと感染維持（メモリー）効果に着目した研究を紹介する。具体例として、コロナウイルス感染症における前臨床診断データの活用、感染→軽症→重症化といった指数分布に従わないイベント遷移を考慮した感染動態の把握など、感染における集団・個体内のメモリー効果を表現できる手段として、再生方程式が有効であることを紹介する。

問い合わせ先：江夏洋一（yenatsu@rs.tus.ac.jp）